

令和2年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 令和3年2月17日

NO	実施館	事業名	事業目的	期間・回数	参加者数	学習成果	主な講師等
1	田無	映像から見る現代 見たことのない映像を観る	映像（未公開作品）を視聴し、覚えていることを話し合い、視点・感性の違いを認め合う。	令和2年12月7日 12月14日 12月21日 月曜日 全3回	延べ26人	未公開作品の視聴によって偏見や評価に左右されない鑑賞を体験し、知覚したことや思考したことを言葉にして伝え合うことで感性や観察の違いを認め、互いの価値観を豊かにすることが出来た。	渡邊一孝（映画プロデューサー）
2	田無	防災講座 我が家の防災計画（風水害編）を作ろう！	最近の異常気象による風水害について、現地災害支援者から被災地の実状を学ぶ。風水害発生時に備えて自分仕様の行動計画を作成する。	令和2年12月19日 12月26日 土曜日 全2回	延べ34人	現地災害支援者と講師のクロストークでは報道されない被災地の様子、被災後の生活再建まで及ぶ新たな学びがあった。また被災した場合の対応について、西東京市ではという視点で自分事として学ぶことができた。	小野修平（ジョージ防災研究所代表、防災アドバイザー）

3	芝久保	子ども体験講座 アルキメデスへのとびら～算数と友だち～	子どもが興味を引く「算数」の問題に触れることで、じっくりと考えることの面白さ、楽しさ、大切さを体験し、興味関心を深める。	令和2年12月19日 土曜日 午前・午後、 12月20日 日曜日 3回	延べ51人	いろいろな問題を実践を通してじっくり考え、楽しさや面白さに気づき、興味・関心を深めた。また、自分で考えた解き方や気づいたことをみんなの前で発表し、思考力や表現力を養う機会とした。	友利将吾（私立武蔵高等学校中学校数学科教諭）
4	ひばりが丘	防災講座 安否確認からはじまる防災コミュニティ～広げよう活動の輪～	災害発生時に行う諸活動を学ぶとともに、活動を円滑に進めるためのコミュニティづくりを考える。	令和2年11月28日 12月12日 土曜日 全2回	延べ37人	共助による地域防災力の向上に向けて、必要な活動及び取組を進めるための方途を、学び・考えることができた。	小野修平（ジョージ防災研究所代表、防災アドバイザー）
5	保谷駅前	クラフト講座 ～布と仲良しになろう～ パッチワーク編	生活における丁寧な手仕事の喜びを知る。	令和2年12月10日 12月17日 12月24日 木曜日 全3回	延べ46人	キルトの歴史を学びパッチワークの基礎的な技術を習得し手仕事の楽しみを味わうことができた。	佐野啓子（斉藤謡子キルトパーティー公認講師）
6	保谷駅前	親子講座 父子でドッキリわくわく、科学でマジック	父親の子育て参加の促進	令和3年1月4日 月曜日 1月5日 火曜日 1月6日 水曜日 3回	延べ31人	作ったもので一緒に遊ぶことで、子どもと父とのコミュニケーションを良好にすることができた。	島田幸夫（元市内小学校長）